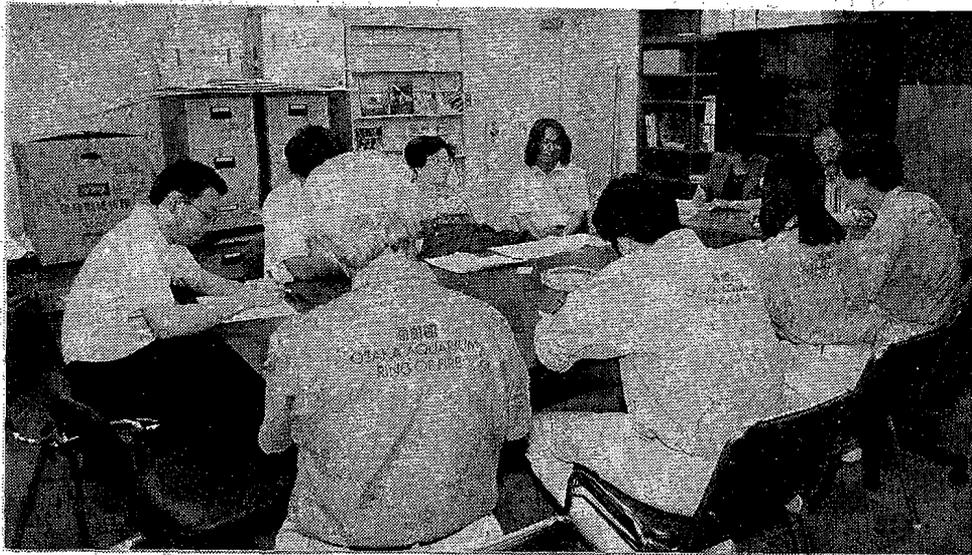


## 曾我部さんパソコン奮戦記

--- 海遊館スクールに向けて ---

(訪問 木地本 昌也)



〈理科スクールに向けて真剣な打ち合わせ！〉

6月19日に「海遊館」において曾我部教子さんの「理科スクール」の開催のための打ち合わせが行われました。「理科スクール」の対象は小学生で、親子10組ぐらいに参加していただくことや、テーマが「繁殖」ということを決め、後は電話などで打ち合わせをするということになりました。

さて、大変なのがこれからです。小学生たちに配るプリントは手作りにするという最初からの考え。コンピュータを使ってそれを作成することになったのですが、これまでの曾我部さんはコンピュータ嫌いでほとんどさわったことがありませんでした。前回のトピックスで書きましたように、曾我部さんの研修先である尼崎市立教育障害福祉センターにコンピュータを設置しました。

7月5日第1回目のパソコン講習が行われました。場所は尼崎市立教育障害福祉センター。講師はプロップ・ステーションの役員、坂上正司（ハンドルネーム：うめ吉）。曾我部さんが使いやすいようにキーボードを置く台も、支援する会の手によって完成し、順調にスタートしました。

まずはパソコンの考え方よりスタートして、ワープロへと授業は進んでいきました。ワープロでの訂正や追加、切り貼り（カット&ペースト）の簡単さに驚いておられた様子、少し興味もわいてきたようで近い将来が楽しみです。

8月13日に行われたパソコン講習は、夏休みということで曾我部さんの自宅で行われました。テレビの読売新聞ニュースで放映するということが、東京より読売新聞が取材に来ました。8月16日の読売テレビでプロップ・ステーションの活動と共に放映されました。

曾我部さんはまだ心の中ではパソコンは嫌いだそうです。ただ、最近面白いなあというふうになってきているそうです。曾我部さんにとって問題はまだまだ山積みです。まず一番最初に感じているのが、体力の問題。そしてこれまで実験道具などはご自分の足で探して教材屋さん売っていないようなものを使っていたそうです。それをこれからどうするかという問題。

曾我部さんが現在ご自分できることは、環境整備装置を呼気スイッチを使って操作すること、本のページをめくることぐらいです。ご自分でも自立に対して毎日、自問自答を繰り返しているそうです。そんな曾我部さんの夢（目標）は、1人で生活ができるようになりたい、1人でなんでもできるようにになりたい、教壇に戻りたい、ということです。現在は大学生2人が同居していて、お茶を飲ませてもらったり、薬を飲ませてもらったり、1日2回の体位交換をしてもらったりしているそうです。

この原稿の締切まぎわに海遊館でのスクールの日程が決まりました。曾我部さんがするのは「サタデースクール」というプログラムの中の1日です。「サタデースクール」とは海遊館が以前より開いているプログラムで、月1回の土曜日（学校の休みの日）に行われ、3回で1回のコースとなっています。そのコンセプトは、生涯学習の一貫として（子供達に）少しでも興味を持ってもらい将来的に趣味を見つけてもらう、仕事に結びつけてもらえたらいい、ということを目指しているそうです。またこのプログラムの中では、こちらからの強制はなく、全て子供の自主性にまがし、わからないことなどを海遊館側のスタッフが手助けをするようになってきているようです。そして親子で参加してもらうことにより、親子のふれあいを大切に考えているそうです。

今回よりこの「サタデースクール」は6回で1つのコースとなるそうで、第1回目が10月9日、曾我部さんが授業を行うのは、12月11日、第3回目となりました。

色々な問題を抱えながらも着々と進行しています。このスクールの成功、曾我部さんの夢（目標）の達成へ向け、皆様の暖かい支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。

#### 曾我部さんからのお願い！！

本文の中にも書きましたが、現在曾我部さんは大学生2人と生活されています。その大学生が来年3月卒業のため曾我部さんの家を出ます。来年4月より曾我部さんと一緒に生活していただける人、2人を募集中です。女性で、1日2回の体位交換と少しの介助をしていただきたいとのことです。家賃は不要です。そして家庭教師などに、自宅を使ってもらって結構とのことです。

この件に関するお問い合わせは  
プロップ・ステーション

(TEL・FAX 06-881-0041) まで。。。。



《手づくりのキーボード台 仕上りはとても美しい》

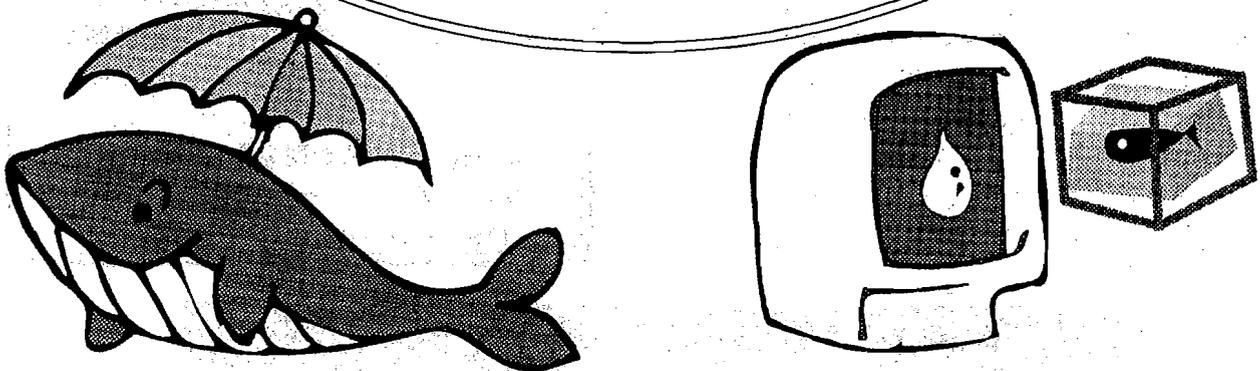
### 海遊館からのコメント

大阪・海遊館では、昨年9月からの”学校週5日制”実施に合わせ、”サタデースクール”を開始しました。このスクールは従来の海遊館スクールとは異なり、小学5、6年生とその保護者という形で参加を募り、用意した材料で自由に楽しみながら学べる場所づくりを目的としています。私たちスクール担当者は、参加された方々が、何か一つでも興味あることを見つけられ、これを生涯の趣味に発展させていただければ、と願っています。

海遊館のサタデースクールには、これまで約230組もの方々が参加していただきましたが、このスクールをさらに充実させたいと考えていた際に、曾我部先生とお話しする機会があり、今回の企画となりました。曾我部先生が、私たちとは異なった視点から指導者として参加して下さることで、さらに幅のある楽しいサタデースクールに発展させていきたいと考えています。

海遊館 飼育展示部  
水産学博士 西田 清徳

海遊館 大阪市港区海岸1丁目1-10



〈自宅にて講習中。左より曾我部さん、竹中、坂上〉

# PROP PRESS

1993年(平成5年) 7月23日 (金曜日) 言 宣 業 斤 尾 尾

曾我部さんは四年前の夏、ケニアを旅行中に、乗っていた気球が墜落。首の骨を折る大けがをし、重度の障害が残った。車いすの生活となったが、復帰への思いは強く、病院の集中治療室で人工呼吸器を付けていたときも、体の心配より教壇に立ちたいばかりを考えていたという。

この熱意に打たれた同僚らは、支援するをこころい地域での生活、復職に向けて運動を続けてきた。昨年九月には福岡市内のインシジョン生活が実現、二月には復帰が認められた。

いま、曾我部さんは同中に鎌倉へ移り、市教育総合センターに通勤。現場復帰を目指し、理科教育のあり方や福祉教育、カウンセリグなどのテーマで研修を続けている。以前から曾我部さんの自立を支えていたブ

## 教壇復帰の思い熱く

事故で両手届かなくなった

ハウの蓄積。海遊館では、この要請に応え協力するようになった。

スクールに向け、プロダクションは、曾我部さんにパソコンを貸し出すと、スタップを派遣。手足が動かないが、口にくわえた棒でもキーボードを打てるように工夫するなど指導。

曾我部さんが描いている授業内容は、会場に合わせた魚の繁殖。「コンピュータ操作をマスターすれば、力強い味方になってくれる。絵や図も入ったテキストを作りたい」と張りの切っている。

もろこし、最終目標は、あくまでも教壇復帰。「まずコンピュータ操作マスター

現場復帰へ向け、コンピュータ一操作に取り組む曾我部さん

その大きな一歩にした、と曾我部さんは、公開スクールを築きながら、毎日「コンピュータに向かっています。」

「供たちと接するところが大好き。授業が無いと毎日学校に行きたくなくなった。とにかく授業がしたい。四年間ずっとそう思っている。来復帰しても、体が不自由だからといって実験をせずに講義だけの授業はなし。なぐり手紙」と意欲を燃やす。

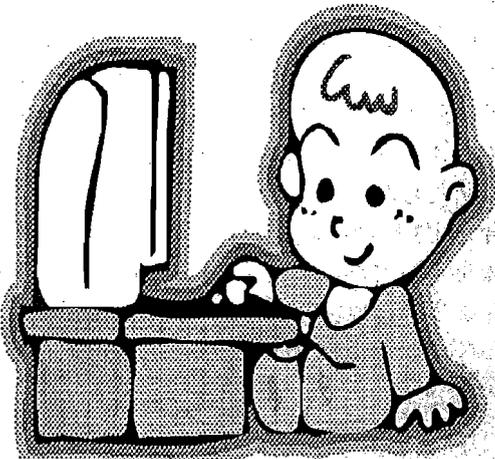
「その大きな一歩にした、と曾我部さんは、公開スクールを築きながら、毎日「コンピュータに向かっています。」



尼崎の曾我部さん

まずコンピュータ操作マスター

今秋には公開スクール



# We're VANGUARD of blind.

プロップ・ステーションSECT・B はじまり、はじまりい!

「新党さきがけを結成しますう!」。 な〜ぬう〜?! わたしのセンスってえ、あんな叔父ちゃん達とおんなじい。 . . . っつかあ? うえ、悲し過ぎる!?

「なあなあ、どうしょ? どっかのオッチャン達が魁(さきがけ)だって言うとするでえ、メッチャたまらんわ、今ならまだ変えられるし…」 Said かめ

「いいじゃないですか? 取り合えず決めたんやし、英語になってたら誰も気が付きませんってえ」 Said スラッソ

「いっそ視覚障害者の就労と権利を考える会とか?」 Said かめ

「うわあ〜っ! もうやめて下さいよ、そんなんダサダサですやん!」

Said スラッソ

「なあなあ、かめえ! ところでパソコンは? Macの音声化は? Macで音楽したいなあ」 Said コム



〈真剣な会議(ただの飲み会かな?)〉

そんなわけで(どんな訳?)動きだした私たちVANGUARDを、ご存知でしたか? なんのなんの、むしろプロップに視覚障害を持ったメンバーがくすぶっていたことを、みなさんはきっとご存知なかったでしょ!?

そりゃそうだ、視覚障害者を対象に何かをやったと言えばこのFLANKERを点字版にして赤字覚悟の発行をしたことぐらい。本当はパソコンを使ってセミナーもやってみたいし、出来ることならセミナーをきっかけにパソコンに興味をもって就労にまでも結びついたら…。でもねえ、音声装置1台が何十万、点字プリンタなんて言い出すととても個人で買えるようなものじゃないし、セミナーの内容となれば、パソコンやキーボードの形さえ知らない人から、プログラムできる人まで幅もメチャ広いユーザーがいる訳で、現実には今の私たちだけではサポートもできない。で、取り合えず3人で勉強会をやりましょう、そのうち興味をもって参加してくれる人もきっと現れるでしょ? と視覚障害者のパソコン・ユーザー会として結成されたのが、このVANGUARDと言う訳。

ところがドッコイ、かめのひらめきが…。

「パソコンのユーザー会って言っても現実にここにパソコンもないし、毎回自分の音声装置やら持っても来れないし、でもせつかく視覚障害者が集まったのに何もやらないってのはもったいないと思わんかえ?、前から思ってたんだけど、旅行とか日常でもそう、車椅子の人の為の外出マップって近ごろよく聞くようになったのに、どうして視覚障害者のってないんだろうね? あれば便利なのに、なあなあ、作ろうよお!」(ヒョヒョヒョ、あり地獄計画第一弾、もうみんな逃がさない)

よく白杖ついて一人で歩いてると”ここにコレありますから”なんて点字ブロックに誘導してくれることがある。もちろんとっても嬉しいけれど、見えない私には何処に続いているものかは分からないし、不意に曲がったり、そこまでやるかってぐらい忠実に柱ごとにかっくんクネクネ。見えてる人が作った物だから仕方ないだろう。

ちょっと歩けばこんな声も多んと聞こえてくる。”あの人少しは見えるのよね、一人で歩いてるもの”、”危ないよお”(いったい何がどう危ないの?)、駅なんかで結構よくあるやり取りが「すみません、〇〇駅までの切符はお幾らで

しょうか?」「はい点字の料金表がありますから」(そんな物自分で見えるのなら…、と愚痴の一つも口をつく)。チョイと旅したりするとこれまた笑える。「兄ちゃん何持ってるの、そんなの振り回すと危ないから…」、「いやあー、もう何十年駅員やってますけど、白い杖持ったお客さんはじめてです、私に捕まって下さい」なんてやたら根張(こんば)った駅員さん、危ないですからなんて抱きしめられたりして(ぎよぎよえ〜ッ!お嫁に行けなくなっちゃうよお)。

でも、これが実際だろうし、誤解や情報不足、ほんのチョットの認識でお互いが楽に、しかも合理的に暮らせるような気がしますヨン。

たとえば、毎回ヒッチハイクのごとく聞き継いで歩いて行かなくても、ブロックの敷設状況を前もって知ることができれば、初めての場所でも安心して利用できるだろうし、よく利用する駅なら料金表や券売機の位置を前もって知ることができれば一人で十分利用できるのに。

守られる障害者? 確かに助けがなければどうしようもないけど、でも幾らか自分達で自分をフォローする必要もあると思う訳で、交通機関や日常の多くに不満を持つて人の愚痴をよく聞きます。僕だって…。でも知らなきゃ変えることは出来ないし。実際動いて何が必要で何をどう変えればいいのか? そろそろ私たち障害を持つ者自身がACTしないとイケないのでは?

どうした視覚障害者! 日本の視覚障害者、若い奴らは何処行った!? そろそろやめたいねえ、暗い、汚い、危ない、おバカ、視覚障害者ってのはこんな人たち!卵が先か、鶏が先か?

そんな物、結果ALL RIGHTと言うものじゃイ!(ええ、違う?) まあねえ、思いついたら動いてしまう、何度痛い思いをしたことか。でもやだねえ、みんな死ぬんだし考えてる間に死んでしまうなんて、自分は自分で見つけないと。(ヒューッ! 生意気イ! カメちゃん!!)。

さて、まるで世間話のようにガラガラと書きました今回かめの第2弾原稿でしたが、大まかにはお分かりいただけましたでしょうか?

”視覚障害者外出マップが作りたい〜っ!”と言うことで、プロップの視覚障害を持つメンバーが、動き始めています。このFLANKERをご覧頂いてるあなたもあなたのお力を僕たちVANGUARDに貸して下さい。一緒にACTして下さい。

きっとこの原稿が載る頃には実際の調査活動が始まっているところです。どうか力を貸して下さい。それに視覚障害を持つ私たちと会って話して下さい。また聞かせて下さい。僕も貴方ももしかすると誤解や認識不足があるかも。何より福祉とか障害とか関係なく、多くの方にお会いしたいです。

いずれ活動の詳細をお知らせできると思いますが、その時はどうか宜しくお願い!

FUNKY かめ と不可解な仲間  
(VANGUARD)

## フレーフレー! VANGUARD

視覚障害者用の「マップ」、私も大変興味があります。どんな情報があったらいいか、今頭に浮かぶのは、駅などで階段の手すりなどに点字表示がされているところがありますが(関西では結構多いようですが、こちら(川崎)ではまだそれほどないようです)、せっかくの点字表示が私たちが知らないために十分利用されていないと思われることです。このようなものは実際に利用してその便利さを体験することによって必要性が感じられるものだろうと思います。

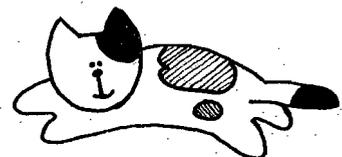
その他にも晴眼者であれば街を歩いているだけで自然に入ってくるもので、私たちが努力しなければ知ることのできないほんの些細な情報

(うろうろするのがそれほど好きでない私には具体的な例が挙げられませんが…) が得られるものがあればいいですね。

ああ、また何を書いているんだか分からなくなってしまったので、この辺で。

皆様、風邪などひかれませんようにご活躍ください。

点字版FLANKER読者 川崎市 出口 雅弘



## プロップ・ネットの話題から

BY うめ吉

プロップ・ステーションがパソコン通信のホスト局を正式に運用するようになって、11月で1年が過ぎようとしています。にもかかわらず、当のFLANKER誌上ではいまだにその内容すら紹介されていません（地の声：お前がさぼっとったんやろ）。そこで、わたくし”うめ吉”がその大役をかってでることになりました（地の声：ほんまは前号の記事やったんちゃうんか）。

さて、当ホスト局は通称「プロップ・ネット」と呼ばれていますが、正式には「プロップ・ステーション」なのです（地の声：それがどうした 人の声：大勢には影響のないことでしょ）。アクセス番号は06-882-5393（地の声：ハヤニゴミクサーと覚える）2400bps/MNP5。詳しい仕様はアクセスして確かめて下さい（地の声：ほんまは知らんのやろ）。

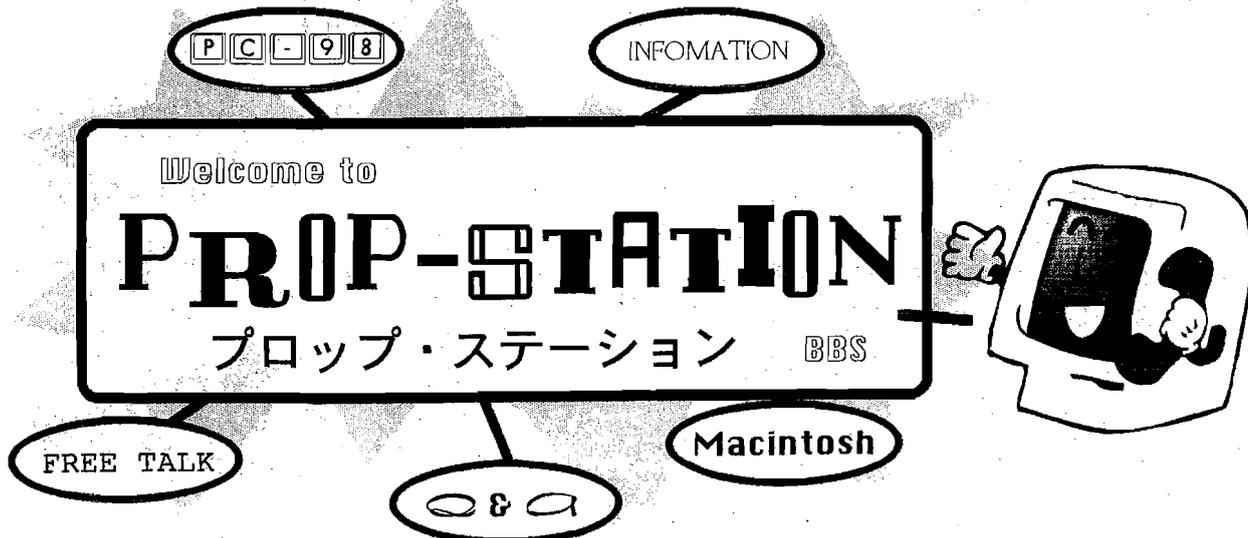
現在、ID取得者数は130名あまり、そのうち毎日～毎週アクセスされているユーザは50名ほどで1日平均アクセス回数が70回前後になりつつあります（地の声：水増しすんなよ）。既にお気付きのこととは思いますが（地の声：さて、なんおことやら）、単回線のホスト局としては限界にきているようです。そんなおり、ホスト・システムの強化、通信速度の向上、回線増等、プロップ・ネットの充実のためにと、(財)電気通信普及財団からの助成が決定しました。11月より2回線になります。お楽しみに！！

では、プロップ・ネットにどのようなボードがあるのか御紹介しましょう。

\*\*\*\*\*

No. Board Name

- |               |                   |
|---------------|-------------------|
| 01. フリートーク    | 18. FLANKER言いたい放題 |
| 02. なんでも聞いて！  | 20. パソコン初心者Q&A    |
| 03. セミナー相談室   | 21. Macの部屋        |
| 04. 福祉機器情報    | 22. IBMの部屋        |
| 05. 企業市民の部屋   | 23. 98の部屋         |
| 07. 視覚障害関連ボード | 24. FMRの部屋        |
| 09. 売ります・買います | 26. OS/2の部屋       |
| 15. あちこちの新聞情報 | 27. Win3の部屋       |
| 16. 障害者求人情報   | 39. 事務局からのお知らせ    |
| 17. 障害者求職情報   | 40. NET案内/道しるべ    |
|               | 41. プロップNET規約     |
|               | 49. ホストからの伝言板     |



\*\*\*\*\*

内容は、タイトルから想像できる程度のもので  
す。一番の賑わいを見せているのは、どこでもそ  
うですがフリートーク。Macの部屋、98の部  
屋では、企業で実務に携わっている人から高度な  
アドバイスが受けられます。

右に、ユーザ・ボードを紹介しましょう。ユー  
ザ・ボードとはID取得者なら誰でも開設できる  
ボードで趣味などのボードとして使われていま  
す。

No. User Board Name

No.	User	Board Name
002.	Coffee Shop	MOCHA mocha
019.	お騒がせ	ボード KEN
065.	通信講座	あ〜ん
089.	ぶろっぶ	座 京愛
118.	帰って来た	ゴミボード
		かけちゃんだよ(´・`)

\*\*\*\*\*

通信講座と言うのは、通信教育のボードではなくパソコン通信全般の疑問点を教えあうボ  
ードです(地の声:誰もそんなこと思わん)。ぶろっぶ座はその昔『俳句の小箱』と銘打った石  
田京愛先生主催の俳句ボードだったんですが、文芸全般のボードとして模様替えしました(地  
の声:園芸全般とちゃうんか)。

これらのボードの中から、面白いものを紹介していきます。まずはB20のパソコン初心者Q&  
Aから。このボードは、もともと在宅パソコンセミナーとしてタケさんがラッキーさん宅にレ  
クチャーにいていた内容をフォローするために、当初電子メールでやり取りしていた内容を  
オープンにさせていただいたことから始まりました。では、そのやり取りの一部(抜粋)をどう  
ぞ。

\*\*\*\*\*

Title: ラッキーさん、こちらへどうぞ  
Article: PRP020 / タケ  
Date: 93/01/23 00:30:51 21line(606byte)

タケです。  
さっそく初心者用ボードを作って頂きましたの  
で、たった今、ラッキーさんに送ろうとしていた  
メールをこちらに書き込みます。

今は...

ラッキーさんが使い方がわからないコマンドが  
あって私に質問しようとしているのですが、うま  
く説明できない。そこで私としては、そのコマン  
ドの実行状況をファイルにセーブしてメールで送  
るか、このボードに書き込んでほしいと思ってい  
る。という状況です。また、ラッキーさんのマシ  
ン環境は、以下の通りです。

PC98VX+ハードディスク+モデム

通信ソフトはWTERM

VZエディタがインストール済み

(これがわかってないと他の人には意味不明なの  
で)

Title: VZで画面情報をファイルに保存  
Article: PRP020 / タケ  
Date: 93/01/23 00:34:42 74line(2152byte)

さて、コマンドの使い方困ったときに私あてに  
メールを送れるように、コマンド実行の記録をと

る方法を授業しましょう。以下の通りに操作して  
みて下さい。

(1) VZ-Zを実行して下さい

「VZ Editor ~ (省略)

メモリに常駐しました。(zで解放)」

とメッセージが出るはずですが。

(2) 何かコマンドを実行します。

とりあえずdirでもやってみて下さい。使い方  
のわからなかったコマンドを実行してみるの  
もいいでしょう。

(3) SHIFT と ESC を同時に押します。

すると、画面の様子が変化して、VZの中のよ  
うな状態になるはずですが、ただし、画面の最  
上行はいつもと少し違う色になっているかも  
知れません。この状態では、(2)で実行した内  
容がそのまま表示されています。画面がスク  
ロールして消えてしまった内容も見ることが  
できます。

(4) (3)で表示した内容をファイルに保存します。

(4-1)保存したい領域の先頭にカーソルを移動  
する

(4-2)F10を押す。左上の四角形の色が変わった  
はずですが。

(4-3)保存したい領域の最後にカーソルを移動  
する。カーソルが動いた範囲の色が変わりま  
す。

(4-4)この状態でF1のメニューを出して、「保存」(Save)を実行します。ファイル名を入力して下さい。

(4-5)もう一度F10を押す。

(5)もう一度SHIFTとESCを同時に押すと、通常の状態に戻ります。

(6)VZ-Zを実行して下さい

こんどは

「VZ Editor ~ (省略)

メモリを解放しました」

とメッセージが出るはずですが。

以上の方法を使えば、たとえば

D:¥LOG>dir

ドライブD:のボリュームラベルはありません。

ボリュームシリアル番号は3C13-17ED

ディレクトリはD:¥LOG

```

.      <DIR>      93-01-06 10:19
..     <DIR>      93-01-06 10:19
post   1340  93-01-22 23:27
prp0121 log 11691 93-01-22 18:18
xx     0      93-01-22 23:13
      5個 13031バイトのファイルがあります。
      40904704バイトが使用可能です。
    
```

D:¥LOG>cd ..

こんなデータを簡単に作れます。あとは、そのファイルをメールで送って下さい。

さあ、やってみましょう!

意味がわからない部分もあると思いますが、今のところは機械的に操作してみてください。これができるようになれば、後の授業が格段にやりやすくなりますので。

Title: 早速、わかりません。

Article: PRP046 / ラッキー

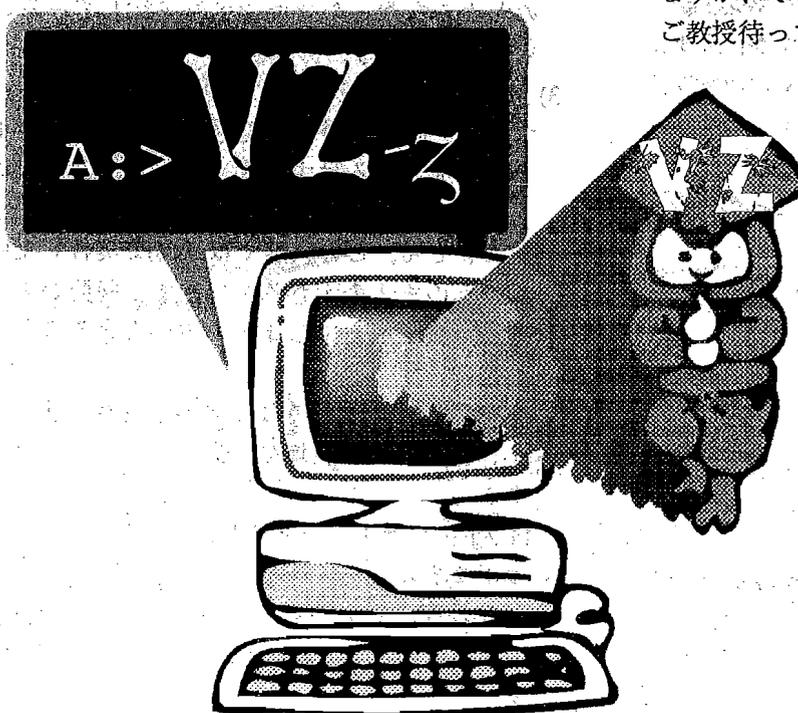
Date: 93/01/24 20:03:15 18line(772byte)

誰か、ご教授お願いします。

今、MS-DOSの基礎知識の本で勉強しています。ディスクコピーの所で、???です。5インチのMS-DOS 3.3B #2を、バックアップの為にディスクコピーしようとしています。何回やっても出来ません。#1は本の通り出来たのですが、#2はコピー出来るようになっていないのでしょうか?。それと、VZ-Zの操作の仕方を教えてもらったのですが、これは、私がこの画面上で行った操作が、そちらに全部送られ、間違いを指摘してくれるものですか?

それなら、今やっているコピーは、フロッピーで、VZ-Zはハードだから、この件に関しては、私がした操作は送れないと思うのですが。

まだ、質問の仕方も上手ではないですが、タケさん以外の方でも、誰でも回答待ってます。私の状況がタケさん以外の方は、よく解らないと思いますが、その点はなんでも聞いて下さい。ご教授待ってます。



Title: Re:早速、わかりません。  
 Article: PRP002 / mocha  
 Date: 93/01/24 21:26:41 8line(411byte)

ディスク#2のコピーの件ですが、受け側ディスクはデータディスクとして、フォーマットされましたか？ format のコマンドで、コマンドまたはファイル名が違いますって出ませんでしたか？ また、DISKCOPY って入力したら、上のメッセージは出ませんでしたか？ 出来ない時には、何がしかのメッセージが表示されてるはずですからそれを教えて下さい。

《MOCHA》

Title: 早速、やってみました。  
 Article: PRP046 / ラッキー  
 Date: 93/01/24 22:17:58 8line(230byte)

MOCHAさん、すべて、その通りです。その通り出ました。

普通のフォーマット？以外にデータディスクとしてのフォーマットの仕方があるのですか。#1はフォーマットもディスクコピーも出来ました。やりかたのご指導待ってます。

ラッキー

Title: Re:Re:早速、やってみました。  
 Article: PRP020 / タケ  
 Date: 93/01/25 12:40:17 24line(801byte)

ラッキーさん  
 パソコンの起動は、フロッピーをセットしない状態で電源をいれて下さい。そうすれば、ハードディスクから立ち上がります。システムフロッピーをセットして電源をいれる（またはリセットする）と、フロッピーから立ち上がってしまいます。

ハードディスクから立ち上げた場合、

ハードディスク： Aドライブ  
 フロッピーディスク（上）：Bドライブ  
 フロッピーディスク（下）：Cドライブ

となります。DISKCOPY を実行するときの指定方法に注意して下さい。

一方、ラッキーさんが使っているMS-DOSの本はフロッピーから立ち上げる場合を想定しているので、

フロッピー（上）：Aドライブ

フロッピー（下）：Bドライブ

となって、本の通り操作したのでは動かない場合があります。今どきフロッピーで起動するのは時代遅れなので、（フロッピーで使ってる人がいたら失礼）ハードディスクで勉強した方が、後々有利です。

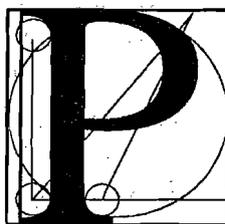
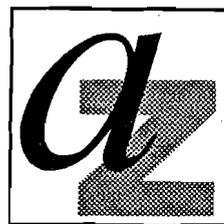
Title: もしかして...  
 Article: PRP020 / タケ  
 Date: 93/01/25 14:52:37 17line(623byte)

もしかしてラッキーさんの使っている本には「フロッピーで立ち上げて、システムフロッピーのバックアップをする」というのを一連の作業として説明してあって、ラッキーさんはその通り操作しようとしているのでは？ そうだとするとラッキーさんの質問の辻つまが合います。

そうだと仮定して...

フロッピーで立ち上げるのはハードディスクを持っていない人用の説明です。ラッキーさんはハードディスクを使って下さい。

DISKCOPY を使うのはフロッピー全体の複写をする場合ですが、これはシステムフロッピーに限らず、全てのフロッピーが対象です。パソコンの立ち上げとは切りはなして考えて下さい。本では例としてシステムフロッピーを使っているだけです。



\*\*\*\*\*

ヘッダの時刻からもお分かりの様に、手紙などのやり取りに較べると非常に早さの面で効率的です。この他にも、Macの部屋でのやりとりで以下の様なものもありました（地の声：おまえのあげあしとりやないか）。